



[概要版レポート]

第3回 スタジアムパーク構想未来会議

2023年2月16日(火)14:00～15:30

第3回 スタジアムパーク構想未来会議

概要

日時：2023年2月14日(火) 14:00～15:30

場所：ユアテックスタジアム仙台 1階 本部室



参加者

氏名	所属および役職等
小田 隆史 (座長)	東京大学大学院 総合文化研究科 准教授
遠藤 雅夫 (副座長)	ベガルタ仙台・市民後援会 事務局次長
三船 博庸 欠席	ベガルタ仙台・市民後援会 理事長兼事務局長
植竹 清美	ベガルタ仙台ボランティアクラブ 代表
天野 和彦	東北学院大学 教養学部 地域構想学科 准教授
田中 秀夫	せんだい泉エフエム放送株式会社 取締役 事業部長
遠藤 宏美	株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局 地域プロデューサー/一般社団法人 泉青年会議所 会員拡大委員会 委員
畑 義信	7DAYS, Peace. (七北田公園活性化協議会) 副代表/仙台IZUMIフードリンククラブ 会長 /株式会社カルティベートダイニング 代表取締役
赤坂 由人 ☆	株式会社ライズ・コンサルティング・グループ アソシエイトパートナー

☆はオンライン参加 ※敬称略

オブザーバー：仙台市

アジェンダ

① 仙台市への途中経過報告について

第1回、第2回のスタジアムパーク構想未来会議で検討した内容を、仙台市(公園課・施設担当)へ報告。
報告内容に対し、口頭もしくは簡易のコメントで仙台市から回答をいただく予定。

② スタジアムパーク構想の全体像

スタジアム・公園の一般的な整備手法を参照し、本会議における議論の現在地を確認。
仙台市への提言に向けた今後の議論の方向性を事務局から提示。

③ 事業スケジュール

スタジアム開発および、周辺地域との連携(まちづくり)を行う際のスケジュール案を事務局から提示。
5~10年の中長期スパンで考えたとき、「スタジアム」を核としたまちづくりの全体スケジュールについて議論。

④ 各エリアのゾーニング

七北田公園内のゾーニング案(公園エリア、スタジアム、野球場・テニスコート)を事務局から提示。
それぞれのゾーンに期待すること、そこに必要な機能、改修によって得られる効果・課題解決について議論。

② スタジアムパーク構想の全体像

一般的な整備手法について

整備手順	内容
1 整備のビジョン	課題の洗い出し、市民が求めるものを精査 キーワード:「ウェルビーイング」
2 整備方針 (コンセプト)	公園エリア・スタジアム・野球場/テニスコート 3つのエリアの「ゾーニング」
→ 3 施設整備計画	仙台市のスタジアム改修に合わせ、先行して協議 スタジアム本体の機能について
4 整備手法	365日稼働するスタジアムの実現に向けたスキーム検討 事業体・Park-PFIなど
5 管理運営手法	改修後の運営・維持管理など
6 事業スケジュール	全体スケジュール(別スライド)

② スタジアムパーク構想の全体像

これまでの議論と、これからの議論

整備手順	内容
1 整備のビジョン	キーワード:「 ウェルビーイング 」
2 整備方針(コンセプト)	公園エリア・スタジアム・野球場/テニスコート 3つのエリアの「 ゾーニング 」
3 施設整備計画	仙台市のスタジアム改修に合わせ、先行して協議 スタジアム本体の機能 について
4 整備手法	365日稼働するスタジアムの実現に向けたスキーム検討 事業体・Park-PFI など
5 管理運営手法	改修後の 運営・維持管理 など
6 事業スケジュール	全体スケジュール(別スライド)

- ・ユアスタの改修が予定されていたため(仙台市)、**まずは施設の整備計画から議論をスタート**させた。
- ・本体の手順である、**全体のビジョンやコンセプト**を検討しながら、市民協働で、周辺地域や公園全体を巻き込んだ構想を、今後つくりあげていく
- ・構想が実現した後に、市民のみなさまにどう活用してもらえるか、**運用面まで事前に深く想定**して検討することが重要。

- ・どんな場所にしていきたいか、キーワードとして事務局からの提案

【ウェルビーイング：心身ともに健康で幸せな状態にあること】

- ↳ ベガルタ仙台はスポーツを生業にしている。当然ながら「健康」というのは重要な要素となってくる。
- ↳ スタジアム・公園を核として、利用する人たちが心身ともに健康になるような構想に。
- ↳ **シビックプライドの醸成、少子高齢化、人口流出**といった課題の解決に貢献できるような内容に。
- ↳ 防災、減災のという考え方は必須事項として取り組んでいく。
- ↳ 日本政府の動き、地域の課題解決の意味もこめて、このキーワードは一つの軸として検討していきたい。

② スタジアムパーク構想の全体像

委員からの意見・感想

- 議論を進めるにあたっての軸、全体像が把握できた。
- ビジョンに「**ウェルビーイング**」といった考え方を入れていくというのは自然。時代の流れでもある。
→ 抽象的にならないよう、そこにベガルタならではの要素を追加していくことが重要。
- この構想を実現させることで何を成し遂げたいのか、**どう課題を解決していくのか**。
- 改修にあたり、ハード面は今まで市民に広く開かれたものにし、その後の運用、すなわちソフト面はある程度ターゲットを絞る必要があるのでは。
- サポーターは、試合がない日もスタジアムについつい行ってしまう
→ ベガルタのサポーターに限らず、日常的にくつろげる場所があるといい。
- **どれくらいの範囲で実施するのか**で、効果が変わってくると思う。
- 泉に飲食店を展開する者として、七北田公園で様々なイベントをやってきたが、場所によって集まる年齢層が全く違うと感じた。強いコンテンツを持ってきても、なかなか人が集まらないこともある。
→ そういった土地にカフェ、レストランがテナントとして来てくれるかどうか、精査が必要。
- パーク構想でにぎわいを創出したいのであれば、**周辺地域の人口や特性も把握した上で、集中的かつ強力な施策**を出す必要がある。

③ 事業スケジュールについて

提言に向けて

【スケジュール】

2023年秋ごろまでに提言内容をまとめ、仙台市に提出するスケジュールで検討中。

一般的なスタジアム開発 + 公園と周辺地域全体を巻き込んだまちづくりの観点で、具体論を進める。

【内容】

スタジアムパーク構想未来会議と並行し、具体論を進めていくための部会を立ち上げる予定。

(任意で未来会議のメンバーにも入っていただく)

- ①整備手法などを検討する部会
- ②市民協働で使いながらパークを育てていく → こういうことを集中的に議論する部会

【備考】

若年層など、様々な世代の意見を取り入れられるようなメンバー構成

第4回 未来会議について

2023年4月中旬を予定

④ 各エリアのゾーニング

ゾーニング(案)



スポーツを「する」、「みる」、「支える」といった観点だけでなく、「交わる」、「語る」といった様々な観点からゾーニングを考える